

# 「ふくい食の会議所プロジェクト」開催レポート①

## 売り込め！ふくいの食

福井の最大の魅力は何かと問われれば、大部分の人は「食」と答えるのではないかと。福井国体開催や北陸新幹線開業を控え、「食」が福井の活性化の鍵の一つとなることに異論はない。

福井商工会議所では、平成28年度のメイン事業の一つとして、「ふくい食の会議所プロジェクト」を起ち上げた。

このプロジェクトは、商品企画・デザイン・表示に関する留意点や売り込み方の勉強会に始まり、県内外の食品バイヤーとの商談会や百貨店・イベントでの販売会など、最終的には販路拡大を目指す。6月上旬からスタートし多数の企業に参加、すでに商談会で成果が上がっている。

今回の特集では、プロジェクトの内容、参加する企業の取り組み、事業への思いや今後の方向性などを紹介する。



西武福井店トライアル販売コーナー「福井商工会議所ショップ」

### 西武福井店 トライアル販売 コーナー

福井商工会議所は、今年5月に(株)そごう・西武と連携協定を締結し、地元企業の商品開発や販路拡大などに取り組む。

この第一弾として、6月3日から西武福井店本館 地階 食品街内にトライアル販売コーナー「福井商工会議所ショップ」をオープンした。

このショップは、自社の特徴ある商品を自ら実演販売する場所として、福井商工会議所が約2週間交代で食品関係企業に提供する。自店と異なる百貨店の顧客を対象に新商品などを試験販売することで、商品開発・販路開拓に活かしてもらう。

寿司店を皮切りに料理店、茶屋など現在まで5店が出店。この8月からは店頭サイン・店舗レイアウトをリニューアルし、顧客への訴求力を高め、来年3月まで引き続き実施する予定となっている。

### 夢の体現！百貨店での販売

西武福井店トライアル販売コーナーの先陣を切ったのが、(有)毘沙門寿司(福井市上毘沙門町1の46の4、☎41-3344)。同店は創業40年を迎える東郷地区の老舗寿司店。店内での飲食以外にも、棒寿司・バッテリーなどをサービスイリアやスーパーにて販売。堀江富夫社長は自ら米を生産し、同店では全てそれを使い、顧客から好評を得ている。

堀江社長は長年、百貨店での販売に憧れを抱き、今回のトライアル販売コーナーをチャンスととらえて出店。イベントでの販売経験はあるものの、百貨店という未知の売り場での店頭販売に最初は戸惑った。



(有)毘沙門寿司  
代表取締役社長 堀江富夫氏

主力商品「まかない焼き鯖寿司」は、ネタと一緒に巻かれた天かすが特徴。サクサクした食感が試食では好評だったが、販売は伸び悩んだ。原因はそのサイズや売り方にあった。堀江社長は、顧客が気軽に購入しやすいようにサイズを半分に変更。また、金土日の夕方には店頭で専門の販売員を立たせ、顧客への声掛けを行ったところ、売れ行きは良くなった。

また、「少量でいいから、色々な味の寿司を楽しみたい」という顧客の要望にこたえて、まかない焼き鯖、焼き鯖、へしこ、明太子の4種類の巻き寿司をパッケージ化した新商品「すし三昧」も販売した。堀江社長の真摯な取り組みが結果につながり、約



「まかない焼き鯖寿司」(税込 432円)

2週間という短い販売期間の中、同店の味を求めて二度三度と来店するリピーターもいた。

未知の場所で慣れない顧客を相手に商品を販売するのは容易ではない。しかし、これをチャンスととらえて果敢にトライしたことが同店の成功につながった。「長年来的夢であった西武福井店での販売は、自分なりに手応えを感じた。条件について交渉は必要だが、西武福井店への出店を前向きに検討したい。今後、このトライアル販売コーナーに出店する方にも、ぜひチャンスを活かしてほしい」と堀江社長は今後の出店者に向けて、メールを送る。

### 福井商工会議所 「メロン部」 4社共同出店

6月25・26日、福井駅西口屋根つき広場「ハピテラス」で「JA花咲ふくい旬菜フェスタ」ふくいメロンまつり(主催:まちづくり福井株・JA花咲ふ



「福井商工会議所メロン部」  
販売コーナー

くいが開催された。このイベントに福井県産マルセイユメロン・花咲紅姫を使った商品を開発した4社(梅田果実店・さんしゅうえん・ページブル・ユアーズホテルフクイ)が「福井商工会議所メロン部」として共同出店。同会場内に販売コーナーを設置し、ロールケーキやゼリー、メロンボールなどの限定スイーツを販売。期間中、親子連れなど約8千人が来場し、メロンの即売会やメロンの食べ比べの他、「メロン部」によるスイーツなどを楽しんだ。

### 店舗ブランドの強化を 目指して

(株)梅田果実店(福井市中央1の9の23、☎24-1250)は

昭和2年から福井市中心部で果物販売業を営む。梅田敬男社長は果物販売を通じて得た知識を活かし、7年前からスイーツ販売も始め、今回、「福井商工会議所メロン部」の一員として出店した。

同店は5年前から他県の百貨店催事にも参加しており、店頭での販売にも積極的に取り組んでいる。また、果物の特徴を最大限活かしたスイーツ作りの知識を持っていた。こうした経験・知識が今回の出店に役立ち、「メロン生ゼリー」「フルーツロールケーキ」などを販売した。同フェスタは開業間もないハピリーの集客効果も重なり、多数の顧客が来場。予想以上の売上をあげるとともに、大人・子供問わず、新たな顧客・ファンづく



(株)梅田果実店(フルーツのウメダ) 代表取締役社長 梅田敬男氏



素材の味を活かした「メロン生ゼリー」(税込380円)

りにつながった。梅田社長は「催事に出席するのは自店のPRが目的。より多くの顧客に知ってもらおうことで、『フルーツのウメダ』というブランド構築につながる」と考える。

今年4月のハピリン開業、平成30年の福井国体開催、平成35年の北陸新幹線開業を背景に今後、福井市中心部には多数の集客が見込まれる。中心部への来街者が増えれば、同店はより顧客の目に触れることとなり、店舗ブランドの強化が必要とされる。昨年11月に店舗をリニューアルし、新たな顧客の獲得に努めるなど、梅田社長は中心部での営業にこだわり続ける。また、同店は顧客との「絆」



(有)香月 販売促進リーダー 伊崎実沙江氏

に「鮮いちば店(福井市大和田1の101、☎53-2070)」をオープンした。

これまでスーパードと取引をした経験はなく、新たな販路開拓を目的に、伊崎実沙江販売促進リーダーが今回の商談会に参加した。

同店では洋菓子、和菓子の2人の職人がシュークリーム・ケーキ・大福・わらび餅などを製造し、幅広いジャンルの商品を取り揃えている。今回の商談会では、菓子部門の取扱商品を増やしたいと考えていたバイヤーが「わらび餅」「ふわどら」などに興味を示し、伊崎リーダーが想定していた以上にその反応は良かった。バイヤーからは商品サンプルの提供依頼や今後の商談スケジュールが示され



独特な食感の「ふわどら」(税込216円)

るとともに、新商品作りへのアドバイスも行われた。

商談会後もバイヤーと交渉を続けた結果、「ふわどら」がスーパリーの店頭で売られることになった。「ふわどら」は、ふわとしたスポンジ生地、しっとりとした生クリーム・チョコクリームなどが挟み込まれた商品。定番品や季節に合わせた商品など約10種類の商品が作られる点もバイヤーにとって魅力となった。

伊崎リーダーは「今回の商談会を機に営業を強化し、販路開拓に努めたい。バイヤーや顧客の要望・提案を職人に伝え、これからの商品づくりに活かしたい」と意気込みを語った。同店は、当所が開催する「ホーム

を大事にする。一期一会の思いで顧客と接し、そのニーズを新たな商品作りやおもてなしに活かす。「『美味しい』という声を聞くため我々は仕事をしている」。この気持ちで90年近く事業を続ける同店の根幹にある。

今後は従業員数の増加や雇用環境の向上に努め、さらなる顧客満足の向上を目指す。目先の成功ではなく、中長期的視点で事業を続けることを同店は第一とする。今回の旬彩フェスタへの出店をはじめ、店舗ブランド確立に向けた取り組みはこれからも続く。

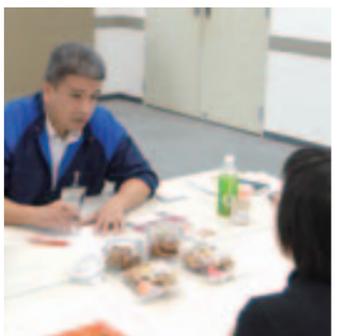
### 予想を上回る参加食品バイヤーとの商談会

福井の魅力ある食品の県内での販路拡大を目的に、「ハニー新鮮館グループ」「福井県民生活協同組合」食品バイヤーとの商談会を7月12日・8月3日福井商工会議所ビルにて実施した。予想を上回る企業から参加

ページ作成セミナー」なども活用し、新たな販売チャネルとして、ネットを使った販売促進にも前向きに取り組む。

### 「食」の無限の可能性に挑戦!

「ふくい食の会議所プロジェクト」は今後も幅広い支援事業を実施する。7月28日から5回シリーズで実施している「販路



食品バイヤーとの商談

参加企業は30分という限られた時間の中で、自社商品の魅力のアピール。バイヤーからは、商品の改良点などに関するアドバイスや今後の取引のための諸条件の確認などが行われた。

### こだわり商品で勝負!

(有)香月(福井市順化2の26の1、☎22-5415)は創業60年、呉服町商店街で菓子販売業を営む。福井市中央卸売市場内で生鮮食品店向け菓子卸売業も行い、平成26年10月には卸売市場の一般開放に伴って、市場内

開拓勉強会」では、商品企画・デザイン・表示に関する留意点や売り込み方などを学ぶ。また、西武福井店や福井市観光物産館「福福館」などでの販売会、食品バイヤーとの商談会も、新規顧客開拓を目的に引き続き実施する予定(詳細は左記参照)。「ふくい食」には無限の可能性が秘められている。このプロジェクトに参加して、商品の魅力向上・販路開拓のための新たな一歩を踏み出そう!

## ふくい食の会議所プロジェクト

今後のメニュー(予定)

- 販路開拓勉強会(7/28、8/23、9/8・20、10/4)
- 販売会
  - ・西武福井店本館 地階 食品街
  - ・福井市観光物産館「福福館」(ハピリン2階)
  - ・開花亭「kuri-ya」
  - ・JA福井県経済連直売場(道の駅併設場所)
- 商談会
  - ・食品バイヤー商談会(県内スーパーなど)
  - ・福井の手土産発掘会/会議弁当ご賞味会

※詳細内容が決まり次第、当所HPなどでお知らせします。

お問い合わせ先

「ふくい食」の会議所プロジェクトチーム

TEL:0776-33-8283 FAX:0776-50-6789

E-Mail: keiei@fcci.or.jp